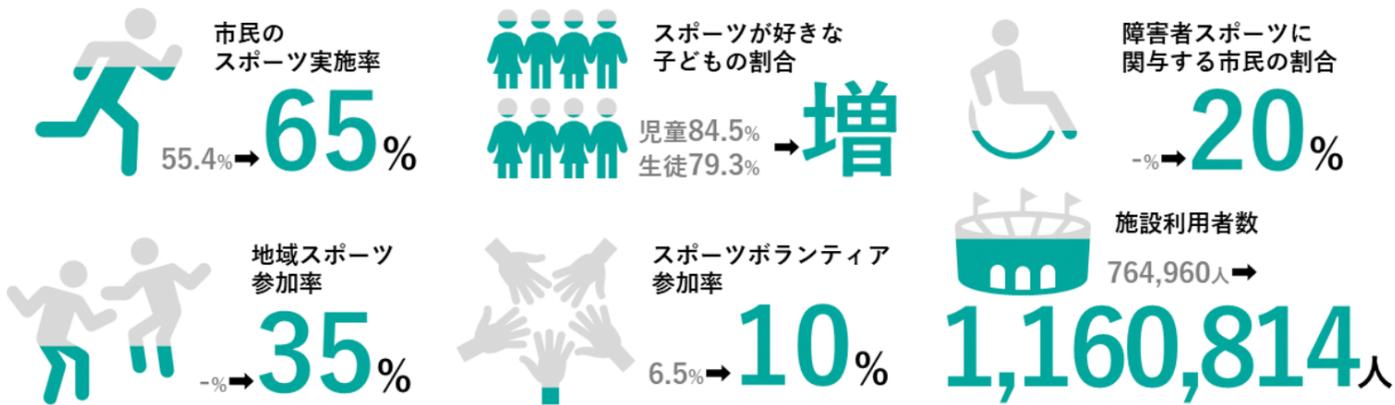


# 成果指標



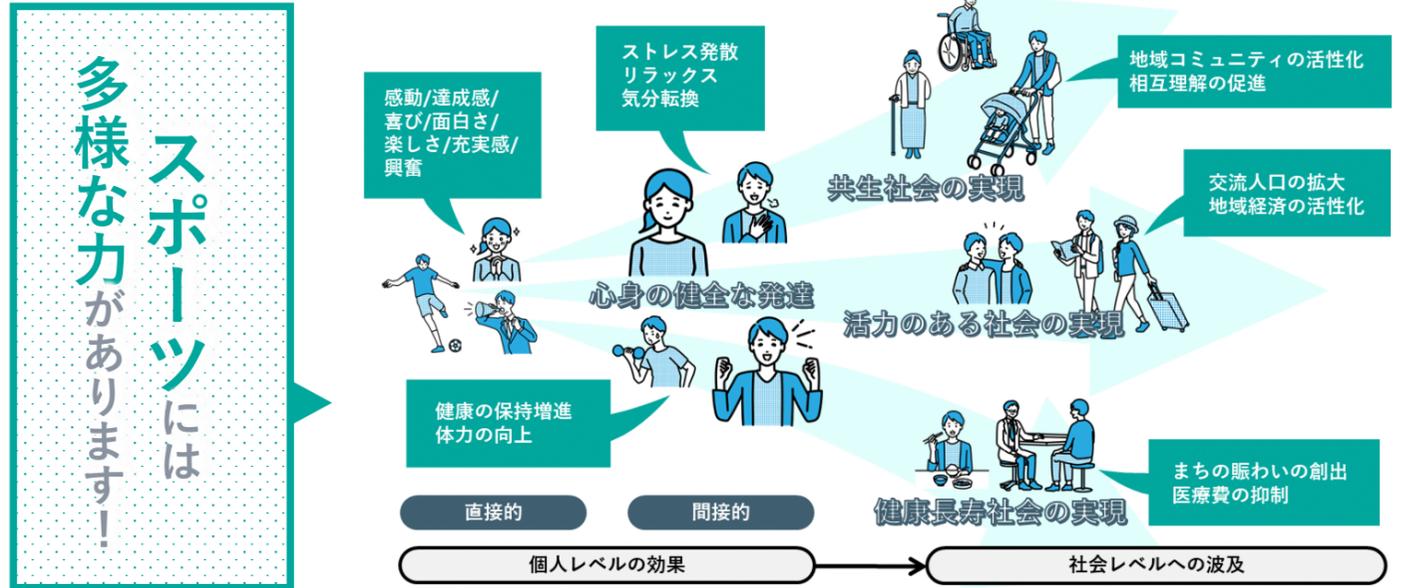
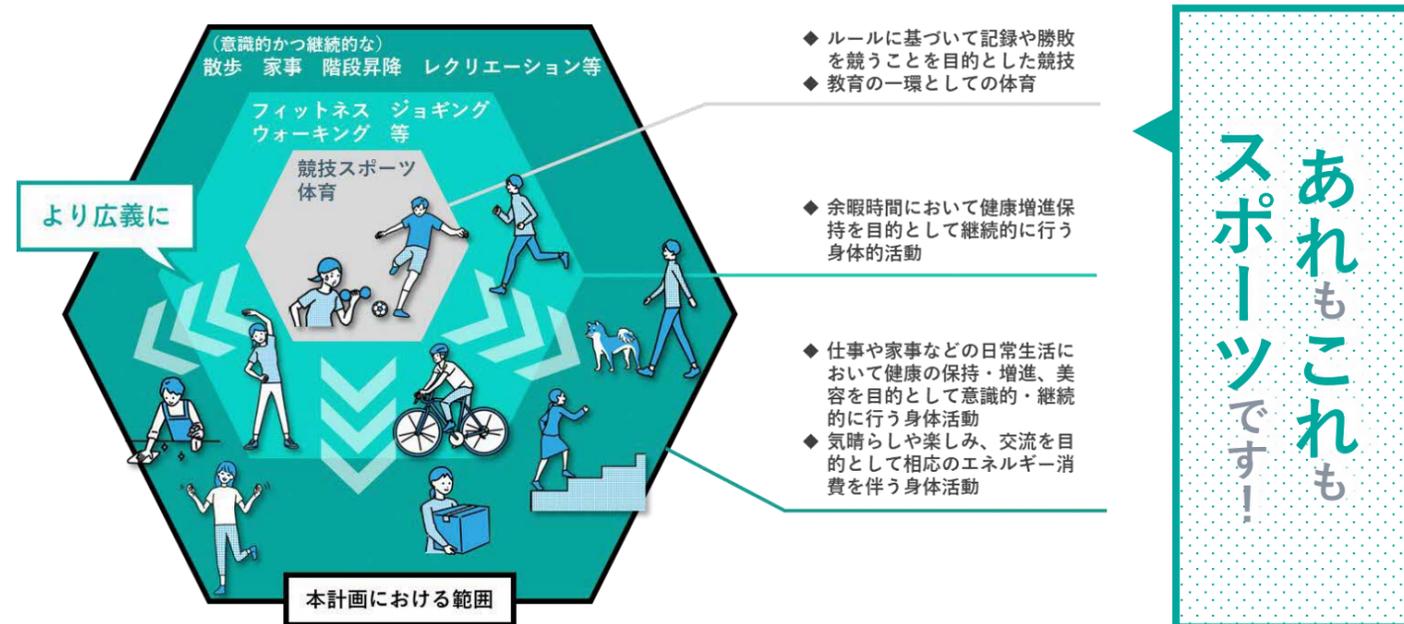
こちらから本編や動画もご覧いただけます /

概要版

スポーツの力で明日がもっと楽しくなる  
**誰もが輝き**  
**心と体が躍動するまち**  
 一人でも、仲間とでも。いつからでも、今からでも。



## 本市が考える「スポーツ」とは



## 第2期 豊中市スポーツ推進計画 2023 ▶ 2027



本市はSDGs未来都市として選定されています。本計画においても「スポーツの力」を意識しながら、SDGsの主旨を踏まえ、持続可能な未来へ向けて、各施策の推進に取り組んでいきます。

## 将来像

スポーツの力で明日がもっと楽しくなる

### 誰もが輝き 心と体が躍動するまち

一人でも、仲間とでも。いつからでも、今からでも。

性別や年齢、国籍や障害の有無などに関わらず互いに認め合い、誰もがスポーツの力を享受できるまちをめざします。市民が、気軽にいつでも・どこでも・誰とでもスポーツができる・したくなるような機会の充実や環境の整備を図ります。

## 方向性

### 1 すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であることから、性別や年齢、障害、経済・地域事情などの違いによらず、すべての市民がスポーツに親しむことができるための環境の充実を図ります。市民がスポーツをしたくなる「きっかけ」をつくり、スポーツができる施設や空間などの「場」や教室・大会などの「機会」を提供します。また、スポーツを介した人の「交流」を増やすとともに、これらを支える「人材の確保・育成」に努めます。



### 2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり

本市の有するスポーツ関連資源を有効活用し、スポーツを通じた若者のシビックプライドの醸成をとおして、将来にわたる人口の維持やスポーツを介した多世代交流など、スポーツによるまちづくりの促進に取り組みます。また、パラスポーツなどをはじめ、多様性に関する理解促進による共生社会の実現やスポーツ実施による市民の健康増進と健康福祉のまちづくりの実現に向けて取り組みます。



## 施策体系

上記めざす姿の実現に向けて、市民の世代や運動実施の段階に応じ、以下に示す具体的施策・事業を展開します。

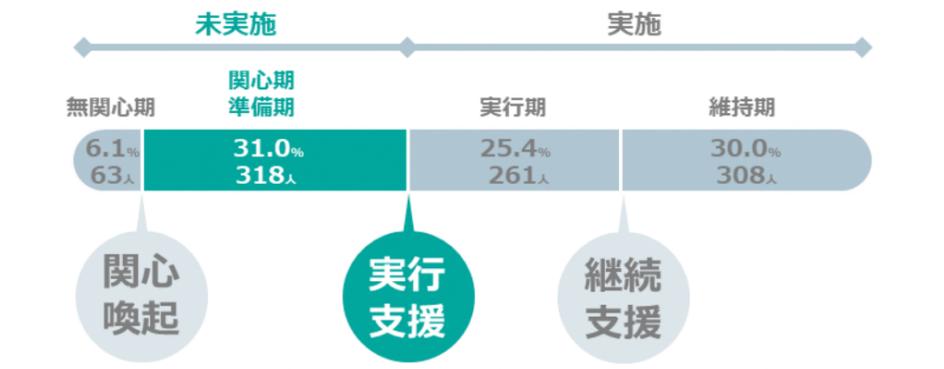
なお、2つの大きな方向性に連なる各種施策・事業はそれぞれ、SDGs17ゴールのうちアイコンで示すゴールの達成に寄与するものと位置付けています。

将来像	方向性	方針	施策	実施事業	フェーズ	
誰もが輝き心と体が躍動するまち	1 すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実	(1) スポーツへの動機付けの強化	① 情報発信による関心喚起	● 市広報・ホームページ等のスポーツ情報発信 他2事業	🗣️ 🏃 🚴	
			② 気軽な体験による実行支援	● ラジオ体操やウォーキングの推進 ● スポーツ用具貸出事業 他3事業	🗣️ 🏃 🚴	
			(2) スポーツ機会の創出	① 幅広い世代へのスポーツ機会の創出	● ライフステージに応じたプログラムの開発と普及 ● 各種スポーツ教室の開催 他9事業	🗣️ 🏃 🚴
				② 子どもへのスポーツ機会の創出	● 運動部活動の地域移行【新規】 ● マルチスポーツの推進【新規】 ● 子どもの居場所の充実【新規】 他7事業	🗣️ 🏃 🚴
				③ スポーツ推進のための場づくり	● スポーツ振興基金の収入確保に向けた取り組み 他2事業	🗣️ 🏃 🚴
			(3) スポーツを通じた交流の推進	① 域内での交流	● スポーツまちづくりイベントの実施（グリスポビア等） 他6事業	🗣️ 🏃 🚴
		② 域外との交流		● 兄弟都市や姉妹都市、空港で結ぶ就航都市、近隣市など他市チームとの交流試合の開催	🗣️ 🏃 🚴	
		(4) スポーツ推進のための人材確保・育成	① 人材の確保	● 中学校運動部活動の指導者の確保 他3事業	🗣️ 🏃 🚴	
				● 指導者講習会・審判講習会の実施 他1事業	🗣️ 🏃 🚴	
			② 人材の育成	● トップアスリートによる講演会や教室、交流会の実施 他2事業	🗣️ 🏃 🚴	
				● 障害児向けの各種スポーツ教室の開催 ● 障害者スポーツ体験会 他2事業	🗣️ 🏃 🚴	
				● 高齢者向け各種スポーツ教室の実施 他4事業	🗣️ 🏃 🚴	
● スポーツによるシビックプライドの醸成	● 障害者向けの各種スポーツ教室の開催 ● 障害者スポーツ体験会 他2事業			🗣️ 🏃 🚴		
2 スポーツを活かした魅力あるまちづくり	③ スポーツによる健康増進	● スポーツによるシビックプライドの醸成	● 障害者向けの各種スポーツ教室の開催 ● 障害者スポーツ体験会 他2事業	🗣️ 🏃 🚴		
		● スポーツを通じた共生社会の推進	● 障害者向けの各種スポーツ教室の開催 ● 障害者スポーツ体験会 他2事業	🗣️ 🏃 🚴		
		● スポーツによる健康増進	● 高齢者向け各種スポーツ教室の実施 他4事業	🗣️ 🏃 🚴		

## ポイント

「関心期・準備期」層に向けた施策を強化

スポーツや運動の低い実施率及び実施に至っていない未実施層の中では、無関心期層が極めて少なく、関心期・準備期が多いことから、関心喚起策ではなく、「まずは実際にやってみる」ことの実行支援が必要であると考えられます。



	運動やスポーツについて	
	実施頻度	満足度
実施	維持期	週3日以上
	実行期	週1～2日
未実施	関心期準備期	週1日未満 ※ 全くしていないを含む
	無関心期	

低年齢層へのスポーツ施策が効果的

各世代におけるスポーツ実施の課題は、一歩前のライフステージでの習慣に起因するケースが多くあると考えられ、低年齢層をターゲットとした施策が中長期的には最も効果的であると考えられます。

一歩前のライフステージのうちから...

- 上手くできなくて苦手意識が...
- 忙しくて時間がとれない...
- 機会や仲間がなくて...
- 体が思うように動かなくて...
- 勝ち負けだけじゃないスポーツの楽しさに気づこう！
- 時間を作ってでもやりたくなるスポーツをみつけよう！
- 若いうちからスポーツでつながりを増やそう！
- 元気なうちから健康維持に向けて取り組もう！